

クラブ選手権 U15 関西大会出場・観戦時における遵守事項

(選手および保護者の皆様へのお願い)

以下、関西クラブユースサッカー連盟事業運営ガイドライン（新型コロナウイルス対策）より必要事項を抜粋

(1) 参加者に対して（参加者とは：大会役員・指導者・選手・審判員・チーム関係者・観戦者）

① 以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせる。

- ・体調が良くない場合。（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる。
- ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

② 参加者全員がマスクを着用する。（下記参照）

- ・屋外で人と十分な距離（最低 2 m）が確保できる場合でもマスクの着用を義務化する。
- ・出場選手以外の選手（ベンチ）は、マスクを着用する。
- ・指導者は試合中の指示以外では、マスクの着用が望ましい。

③ 観戦者が、必要以上に選手やチーム関係者に接近しないよう、各チームで指示すること。観戦場所は、会場毎に適した設定をし、観戦者間の密を避け、大会役員・指導者・選手・審判員と観戦者との導線を分けることが望ましい。また会場により無観客で試合を実施する場合は各チームの責任の下、周知・徹底する。別紙「観戦についてのお願い」を順守していただく様、各チームから協力依頼をする。

■「新型コロナウイルスによる発熱時の対応」について

試合開催日 8 日以内の発熱は試合参加不可 ※発熱日を 0 日と計算する。

競技会または試合開催 2 週間前から当日までの健康状態において発症及び症状消失の状況が認められた場合、以下①および②の両方条件を満たす状況であれば出場、参加が認められる。

① 発症後に少なくとも 8 日が経過している。

② 薬剤*を服用していない状態で、解熱後および症状**消失後に少なくとも 3 日間が経過している。

*解熱剤を含む症状緩和させる薬解

**咳・咽頭痛・息切れ・全身倦怠感・下痢など

※8 日が経過している：発症日を 0 日として 8 日間のこと

※3 日が経過している：解熱日・症状消失を 0 日として 3 日間のこと

尚、上記に該当しない場合であっても PCR 検査または同等の検査(Smart Amp 法検査等)により陰性が確認されれば 参加可能とする。

■「健康チェックシート」について

別紙「健康チェックシート」に試合開催日の2週間前から体温チェックを行う。未成年者は試合開催日に健康状態チェック項目を確認して、保護者が自筆で署名を記入する。本用紙はチーム感染責任者が回収・チェック後、会場責任者に感染症対策・参加者名簿とともに提示する。本用紙は大会終了時まで使用可能で、大会終了後は各チームの責任の下、約1ヵ月保管・管理する。また参加選手だけでなくベンチ入り選手及び帯同スタッフも記入・提示を義務付ける。

(2) 参加チームに対して

- ① 各チーム、責任ある立場の者が、チーム感染対策責任者となり、チーム関係者（観戦者含む）の感染症対策を指導・監督すること。
- ② ゼッケンを共有しない。ベンチ選手のゼッケンの使用について、使いまわさないようにする。色さえ識別できれば良いように、審判に確認。
- ③ ボトルの共有をしない。天候に応じて、最大前半2回、後半2回のクーリングブレイクを確保する。
- ④ 水・氷を溜めたクーラーボックスでボトル等を共有しない。
- ⑤ タオルを共有しない。
- ⑥ ベンチではマスクを着用。
- ⑦ 両チームのベンチ挨拶、相手チーム、審判団との握手をしない。
- ⑧ 試合前チーム写真撮影は行わない。
- ⑨ ピッチ内でも咳エチケットを守り、唾を吐く、鼻をかむなどの行為を行わない。
- ⑩ ウォーミングアップなども他チームとの適切な距離を確保すること。ピッチ内アップ時も同様。当日対戦しないチームとの接近を極力避ける。
- ⑪ ロッカールーム（使用の場合は原則、着替えのみとする）や荷物置場等でチーム内、または他チームとの距離を十分にとること。
- ⑫ 観戦者の大声を出しての応援、組織的な応援など行わないこと。
- ⑬ エントリー以外の選手の応援などは禁止とはしないが、会場の状況に合わせた対応をすること。

最後に、安心・安全に開催するために、仲間として「相互理解」と「相互協力」が不可欠です。